

# 岩手県感染症週報

平成27年第50週(12月7日～12月13日)

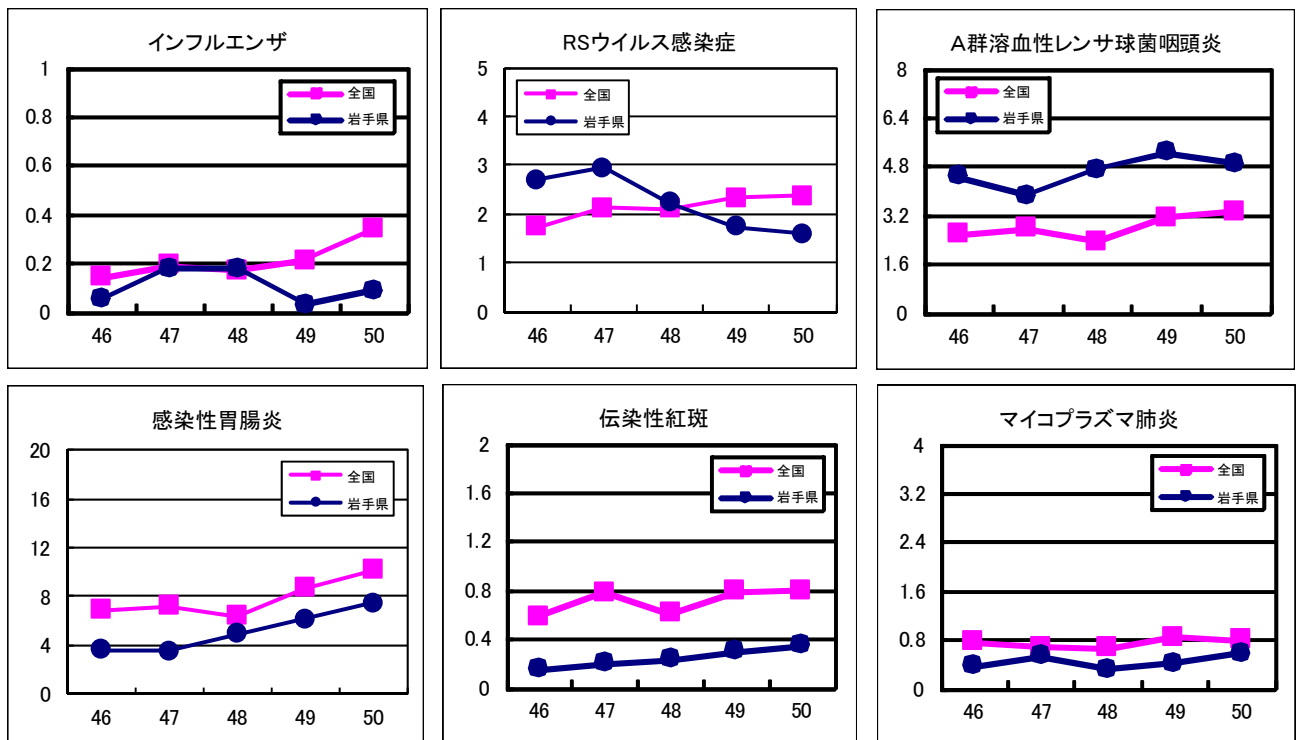
岩手県感染症情報センター

## 第50週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の報告が13例ありました。そのうち、潜在性結核感染症例は7例です。
- 3 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 4 類感染症 ・E型肝炎の報告が一関地区から1例ありました。患者は44歳代の男性です。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
  - ・アメーバ赤痢の患者の報告が、一関地区より1例ありました。患者は30歳代の男性です。
  - ・梅毒の患者の報告が、盛岡市より1例ありました。患者は30歳代の男性です。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
  - ・感染性胃腸炎は、県内10地区のうち7地区で報告数が前週より増加し、中部及び久慈地区で、定点あたり患者数10人を超えています。例年、12月に入ってから年末にかけて患者が増加するので、さらに注意が必要です。また、11月以降、保育園においてノロウイルスやサポウイルスによる集団感染事例が続発しており、感染予防対策の徹底が必要です。予防には、石けんと流水を用いた手洗い、塩素系薬剤による患者の汚物の適切な処理、食品の十分な加熱などが重要です。
  - ・溶連菌咽頭炎は、前週より減少しましたが、中部及び二戸地区で警報値(定点あたり患者数8人)を超えた状況が続いています。予防には、患者との濃厚接触を避けること、手洗いやうがいの励行が重要です。
  - ・手足口病は、夏に流行がみられる疾患ですが、大船渡地区で2週続けて警報値(同5人)を超えています。年齢層は、3～5歳が多くなっています。予防には、手洗いの励行が重要です。
  - ・インフルエンザワクチンは、接種後2週間程度で効果が現れるので、早めの接種が望まれます。

## 最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾病となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		46	47	48	49	50		
インフルエンザ	岩手県	0.05	0.18	0.18	0.03	0.09	→	
	全国	0.14	0.19	0.17	0.21	0.34		
RSウイルス感染症	岩手県	2.7	2.95	2.23	1.73	1.58	→	☆☆
	全国	1.73	2.13	2.11	2.32	2.36		
咽頭結膜熱	岩手県	0.25	0.4	0.15	0.35	0.25	→	☆
	全国	0.39	0.47	0.46	0.58	0.64		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	4.48	3.85	4.7	5.25	4.9	↘	☆☆
	全国	2.59	2.76	2.35	3.12	3.34		
感染性胃腸炎	岩手県	3.6	3.55	4.9	6.1	7.45	↗	☆
	全国	6.88	7.18	6.42	8.66	10.14		
水痘	岩手県	0.53	0.68	0.48	0.98	0.53	→	☆
	全国	0.55	0.6	0.65	0.74	0.7		
手足口病	岩手県	0.4	0.58	0.65	0.78	0.7	→	☆☆
	全国	0.37	0.39	0.27	0.23	0.18		
伝染性紅斑	岩手県	0.15	0.2	0.23	0.3	0.35	→	☆☆
	全国	0.59	0.78	0.61	0.79	0.8		
突発性発疹	岩手県	0.48	0.6	0.38	0.53	0.53	→	☆
	全国	0.52	0.53	0.45	0.48	0.46		
百日咳	岩手県	0	0.03	0	0.03	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0	0.1	0.08	0.05	0.03	→	
	全国	0.06	0.07	0.05	0.05	0.04		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.38	0.43	0.33	0.6	0.6	→	☆
	全国	0.7	0.67	0.77	0.81	0.85		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0.07	0	→	
	全国	0.01	0	0.01	0.02	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	0.43	0.21	0.71	0.64	0.79	→	☆
	全国	0.83	0.9	0.86	0.85	0.81		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.01	0.02	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.04	0.04	0.04	0.05		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.37	0.53	0.32	0.42	0.58	→	☆
	全国	0.76	0.68	0.66	0.85	0.8		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0.05	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.03	0.02	0.02	0.03		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0.21	0.05	0	0.05	0.05	→	
	全国	0.03	0.04	0.04	0.07	0.08		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	0	0	0	0	0		
	全国	18	17	17	14	15		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※中東呼吸器症候群 (MERS) 及び鳥インフルエンザ (H7N9) が2015年1月21日より二類感染症に追加されました。

(患者発生数)

	疾病名	(週) 岩手県					累計	全国	
		46	47	48	49	50		50	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 ( ) 内は潜在性結核感染症患者再掲	2 (1)	1 (0)	5 (0)	2 (1)	13 (7)	246 (110)	341	22752
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	6
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	2	153
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	85	30	3515
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	34
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	31
	E型肝炎	0	0	0	0	1	8	4	187
四類 感染症	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	1	4	235
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	2	22
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	5
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	4
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	1	60
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	17
	つつが虫病	1	0	0	0	0	6	35	358
	デング熱	0	0	0	0	0	0	4	278
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	9	209
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	2
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	5
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	40
野兎病	0	0	0	0	0	0	0	2	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	10	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	1	
レジオネラ症	0	0	3	1	0	26	19	1525	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	31	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

※カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、水痘 (入院例)、播種性クリプトコックス症、薬剤耐性アシネトバクター感染症が2014年第38週より報告されることになりました。

分類	疾病名	岩手県					累計	全国	
		46	47	48	49	50		50	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	1	9	15	1031
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	2	1	239
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0	0	0	0	3	16	1575
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	4	9	474
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	1	15
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	1	178
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	2	4	406
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	1	0	4	13	1338
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	75
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	3	6	231
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	29
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	0	1	0	0	16	45	2165
	水痘 (入院例)	1	0	0	0	0	4	7	290
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	1	2	43	2477
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	0	110
	破傷風	0	0	0	0	0	1	1	114
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	60
	風しん	0	0	0	0	0	1	1	157
	麻しん	0	0	0	0	0	0	0	34
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	33	

今注目の感染症

インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因とする気道感染症です。症状は、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れます。

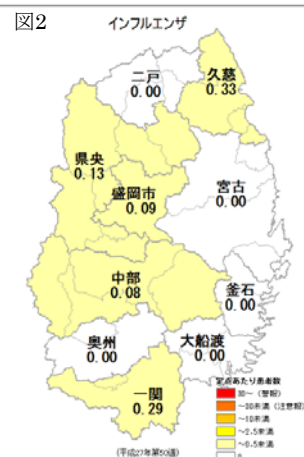
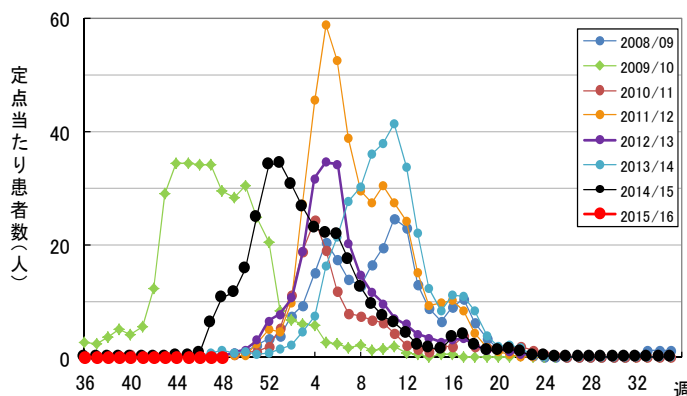
岩手県の発生状況ですが、例年11月下旬から12月上旬頃から発生が始まり、翌年の1～3月頃に患者数が増加します。今シーズンの第50週は、報告数は少ないのですが、図2のとおり5地区から報告がありました。

今年度の季節性インフルエンザワクチンは、インフルエンザA(H1N1)亜型(インフルエンザ(H1N1)2009)と同じ亜型)、A/H3N2亜型(いわゆるA香港型)、B型(山形系統)、B型(ビクトリア系統)の4種類が含まれたワクチン(いわゆる4価ワクチン)です。昨年度までの3価ワクチンに比べ、B型を2種類にすることで、より高い予防効果が期待できるものです。ワクチンの予防効果が現れるのは、接種後2週間から5ヶ月程度と考えられています。早めの接種が勧められます。

参考 国立感染症研究所

インフルエンザとは <http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/219-about-flu.html>

図1 インフルエンザ、岩手県(2008/09-2015/16)



今注目の感染症 (つづき)

RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は、秋から冬にかけて流行するRSウイルスによる急性呼吸器感染症です。何度も感染と発症を繰り返しますが、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の児がRSウイルスに少なくとも1回は感染するとされています。

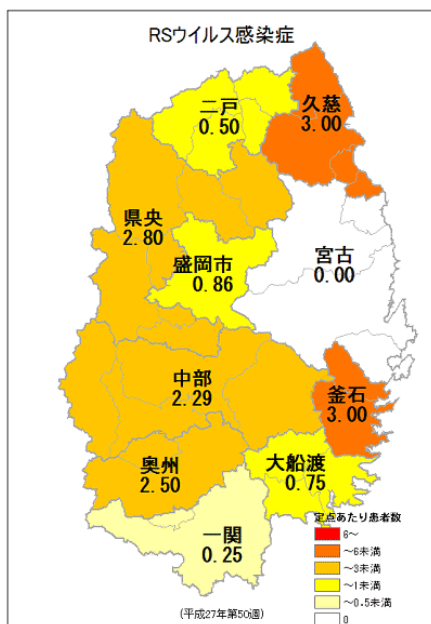
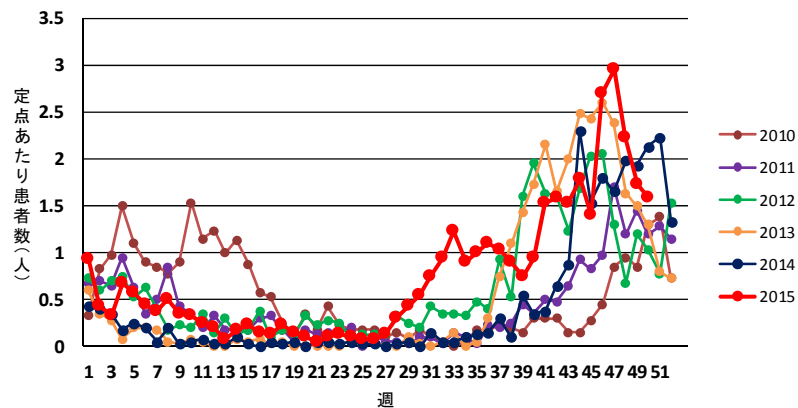
症状は、軽い風邪症状から重い肺炎まで様々ですが、初めて感染発症した場合は重くなりやすいといわれており、乳児、特に乳児期早期にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎など重篤な症状を引き起こすことがあります。そのため、乳児期早期の感染を避けるための注意が必要です。

感染経路は飛沫感染および接触感染(鼻水や喀痰のウイルスが手指や器物を介して感染)です。予防には、手洗いや咳エチケットが重要です。

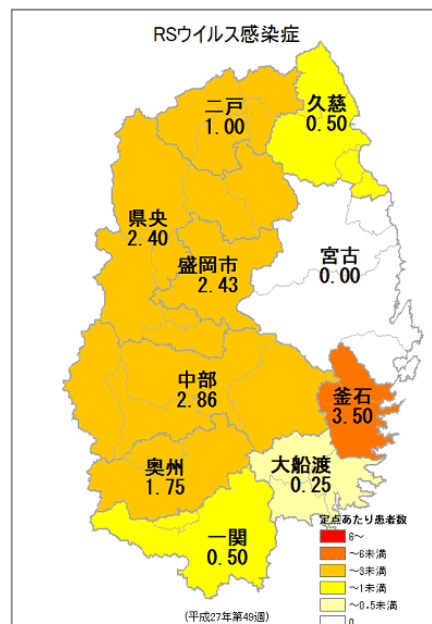
参考 厚生労働省 RSウイルス感染症Q&A

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs_qa.html)

RSウイルス感染症週別患者報告数 岩手県  
2010年～2015年第50週



第50週



第49週

今注目の感染症 (つづき)

感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因はノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年では、流行の前半はノロウイルスが、後半はロタウイルスが患者から多く検出されています。

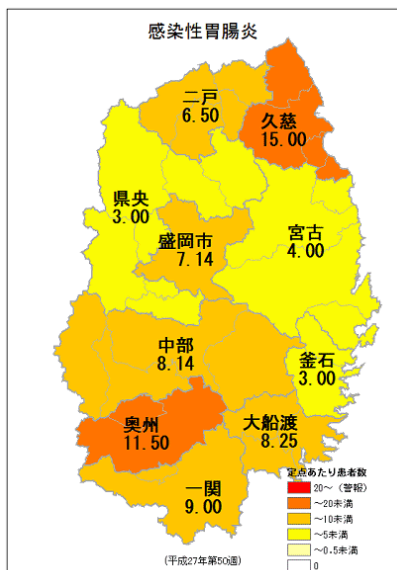
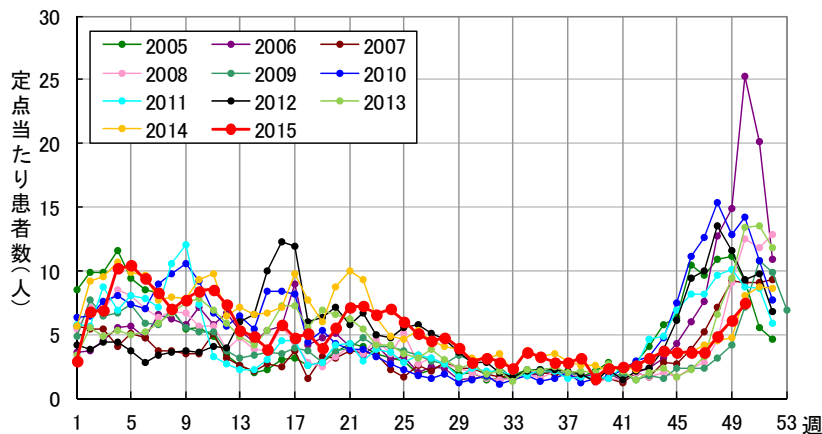
感染性胃腸炎の報告数は、例年、11月頃から増加し、12月にピークを迎えますが、2015年は報告数の少ない状況で推移しています。しかし、県内では保育園においてノロウイルスなどによる集団感染事例が報告されています。

感染性胃腸炎の原因となるウイルスの感染経路は、主に経口感染です。感染力が非常に強いので、保育園など集団で生活する場では、注意が必要です。また、ノロウイルスではGⅡ17変異株(いわゆる「新型ノロウイルス」)が他県で検出され、全国的な流行が懸念されるため、県内での発生の動向に注意が必要です。その予防には、これまでどおり、調理前、食事前、用便後に石けんを用いた十分な手洗い、食品の十分な加熱、患者の汚物の塩素系消毒剤による適切な処理が重要です。

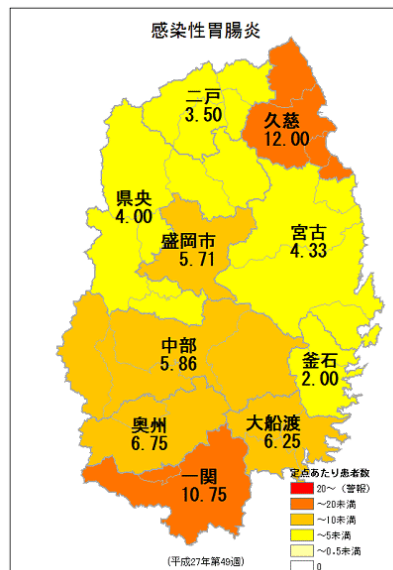
参考 厚生労働省ノロウイルスに関するQ&A

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

感染性胃腸炎、岩手県 (2005-2015)



第50週



第49週

## 病原体検出情報

- ・この週には病原体検出情報はありません。

## 集団感染情報

○感染性胃腸炎の集団発生について

花巻市内の保育園（園児14名、職員6名）

- ・12月7日（月）から12月11日（金）にかけ1、2名（園児11名、職員1名）に症状（嘔吐、下痢等）
- ・有症者5名からノロウイルスを確認

北上市内の保育園（園児59名、職員数15名）

- ・12月5日（土）から12月15日（火）にかけ、18名（園児15名、職員3名）に症状（嘔吐、下痢等）
- ・有症者4名からノロウイルスを確認

盛岡市内の保育園（園児49名、職員17名）

- ・12月9日（水）から12月17日（木）にかけ、園児20名に症状（嘔吐、下痢、腹痛、発熱等）
- ・有症者3名中3名からノロウイルスを確認

## 医療機関からの情報

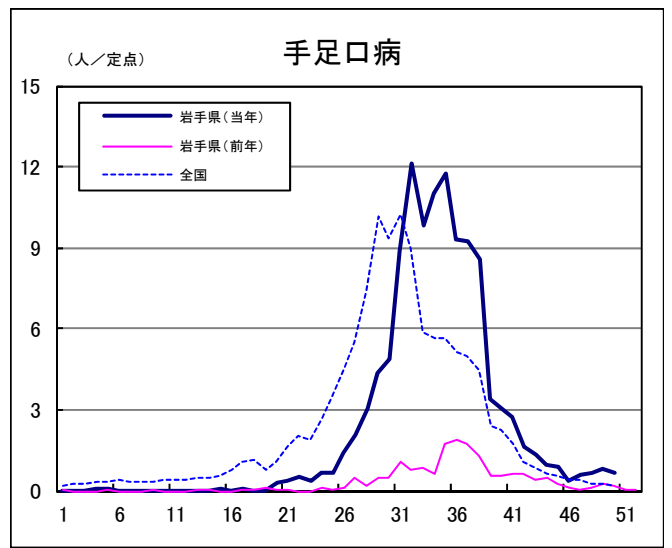
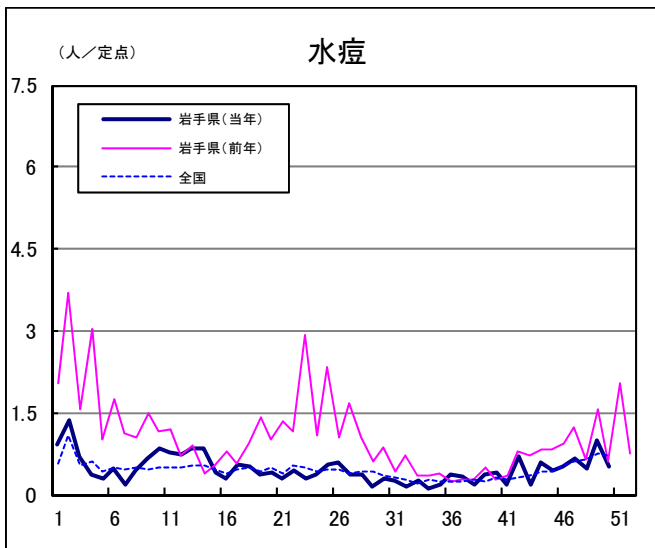
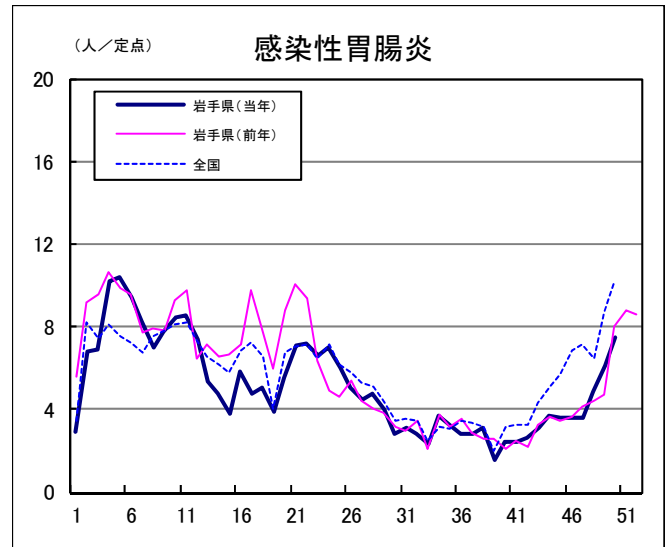
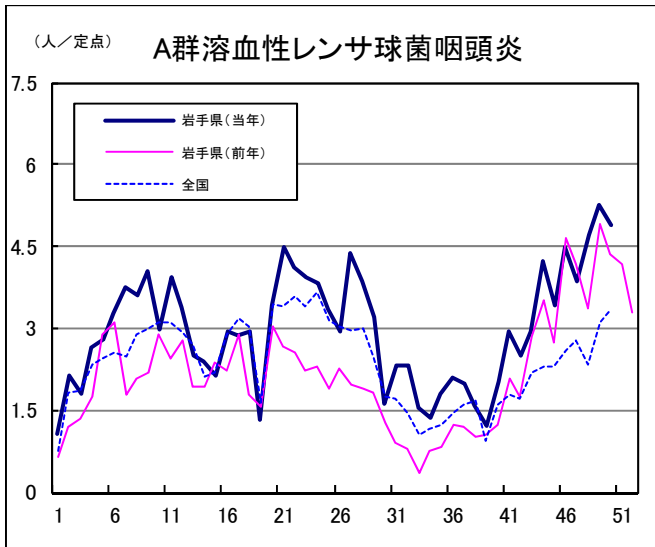
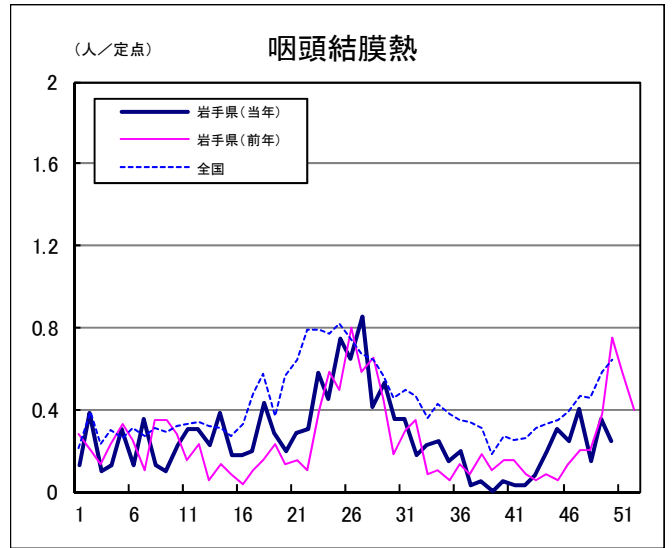
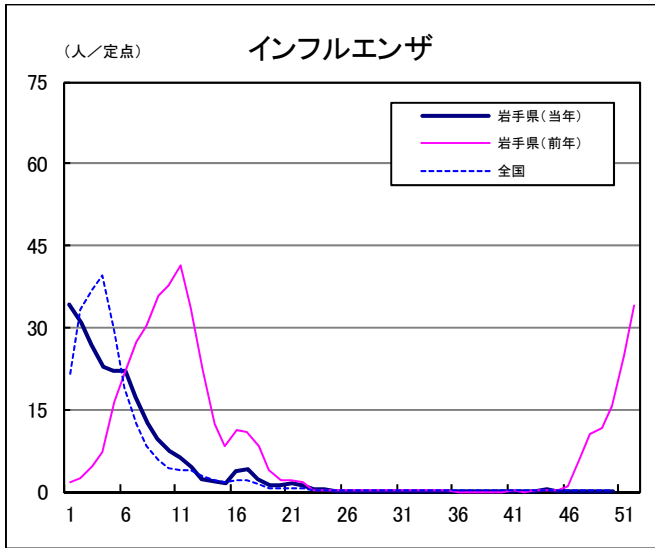
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

## Q & A

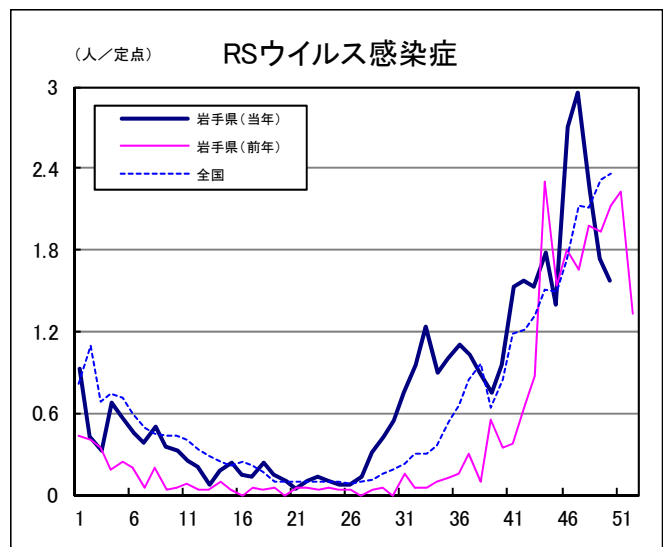
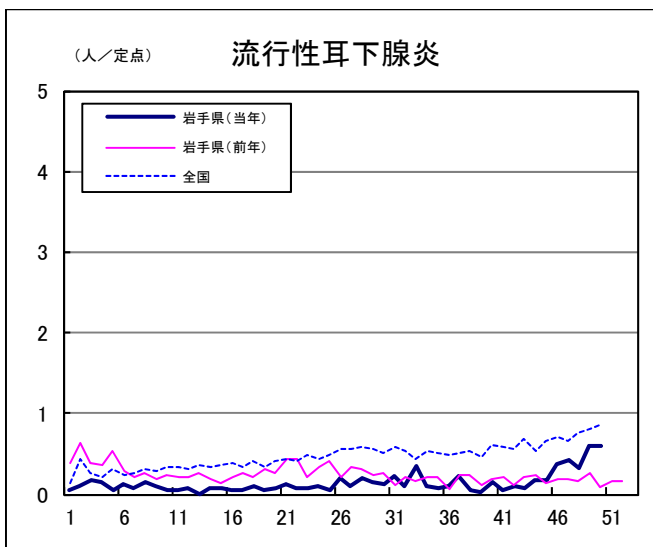
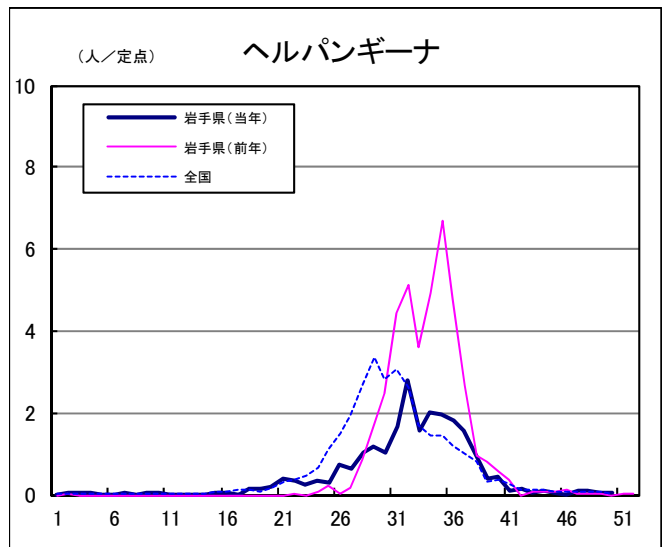
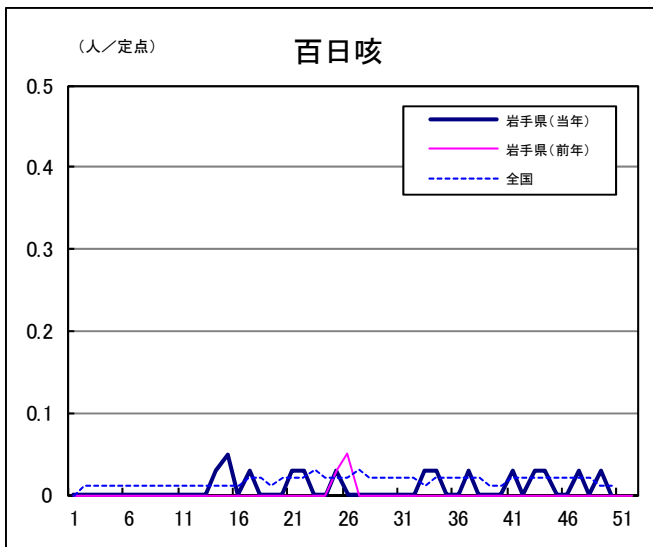
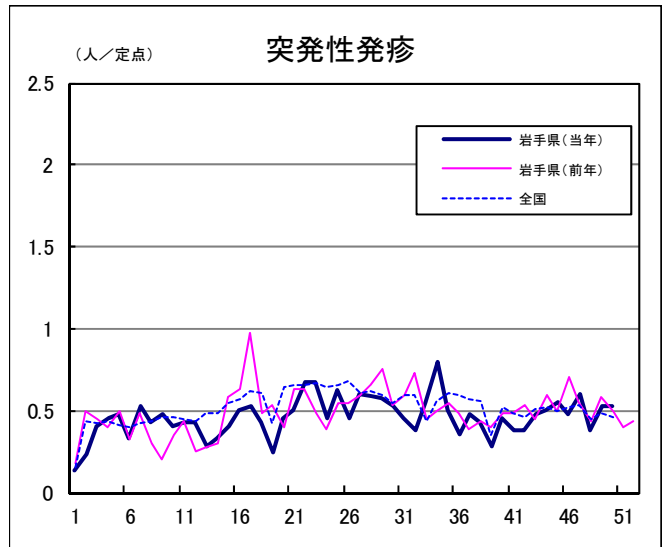
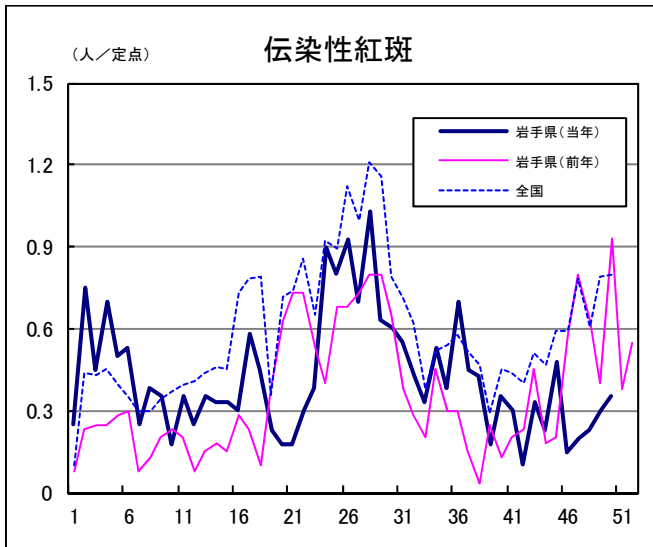
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

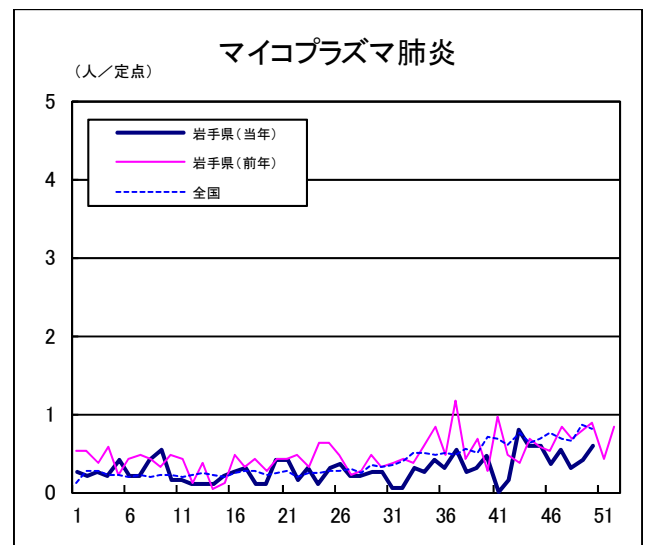
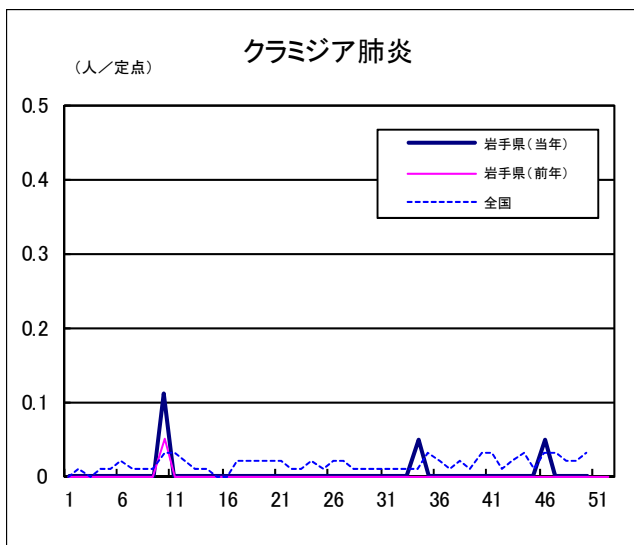
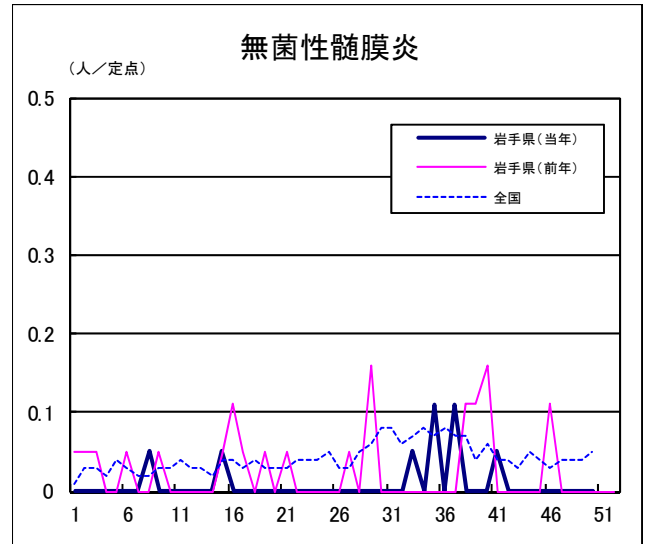
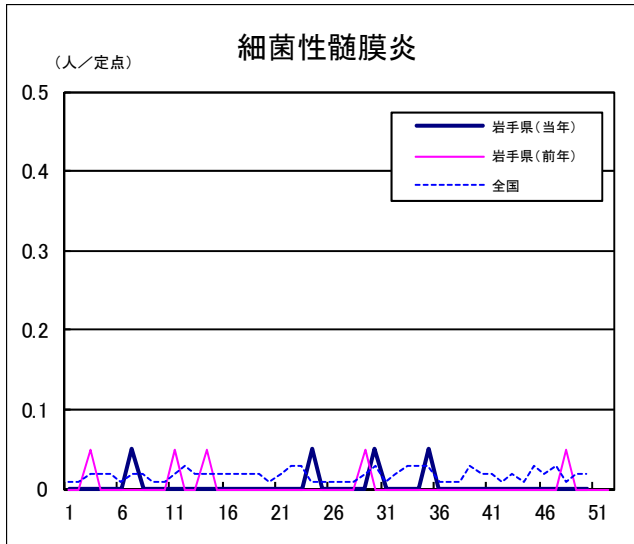
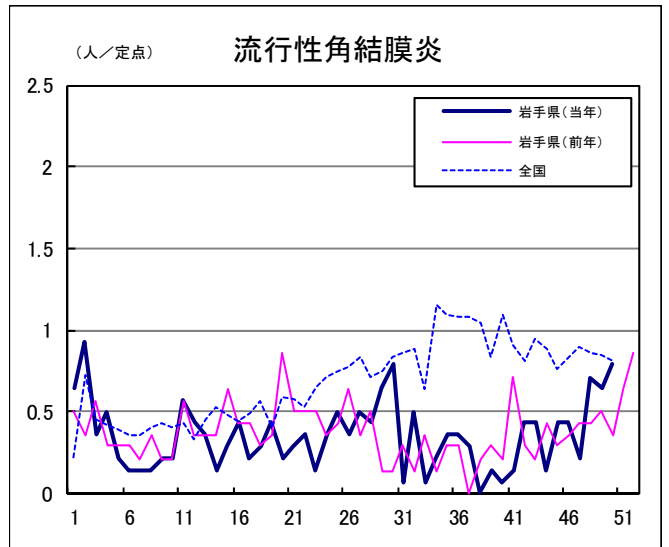
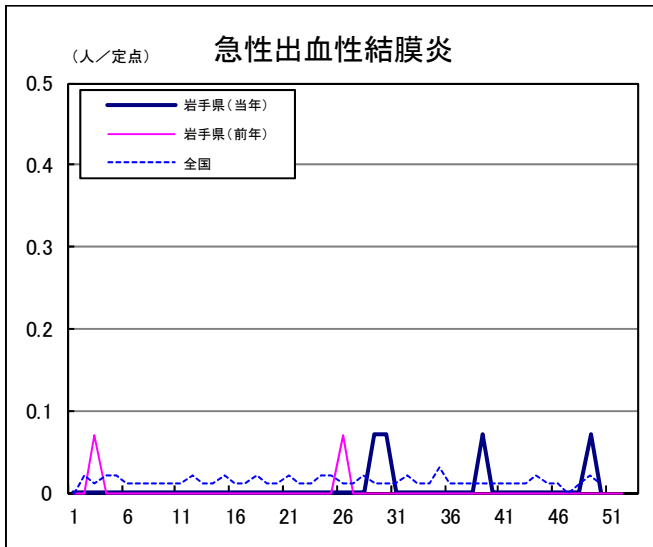
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。  
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）  
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16  
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667  
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)









定点医療機関の数

地区	定点種別 インフルエンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	65	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	8	5	2	0
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成27年第50週 平成27年12月18日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター  
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター  
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/iryuu/kenkou/index.html>

<岩手県保健福祉部医療政策室>